

■令和2年度音楽学部推薦入試・自己推薦特別入試 第2次選考試験 試験内容及び課題曲

1. 音楽の基礎的能力試験

・ピアノ

作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

音階：Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

・ソルフェージュ

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱1題

聴音

単旋律課題1題

4声体和声課題1題（器楽専攻弦楽器コースのみ）

・楽典

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般

2. 実技試験課題曲

I. 声楽専攻

演奏時間 6 分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が6分程度になるようにしてください。5分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

II. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻弦楽器コース 共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの課題曲(b)については番号を、ヴァイオリン、ヴィオラの課題曲(c)については曲名を、自由曲については作曲者名と曲名を、弦楽器提出用紙に**欧文で記入**してください。
- (5) コントラバスの受験者は、弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。
- (6) ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

○ヴァイオリン

- (1) 課題曲
 - (a) Carl Flesch: Scale System より h-moll
No. 5 全部、No. 6（1～4 小節）、No. 7（1～4 小節）、No. 8（1～4 小節）
リズムとスラーは C-dur に準じます。（重音は8つずつのスラー）
 - (b) N. Paganini: 24 Capricci für Violine solo Op. 1 より任意の1曲。
 - (c) 下記2曲のうち1曲を選択して演奏してください。
J. S. Bach: Partita für Violine solo Nr. 1 BWV1002 より Allemanda
(Double は含まない)
J. S. Bach: Sonata für Violine solo Nr. 3 BWV1005 より Largo
- (2) 自由曲
古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章を演奏してください。
カデンツァを含みます。

○ヴィオラ

- (1) 課題曲
 - (a) Carl Flesch: Scale System より任意の調
No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。
 - (b) B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22 より任意の1曲
 - (c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello solo より BWV1007～1009 の任意の楽章。
- (2) 自由曲
古典派の任意の協奏曲の第1楽章を演奏してください。カデンツァを含みます。

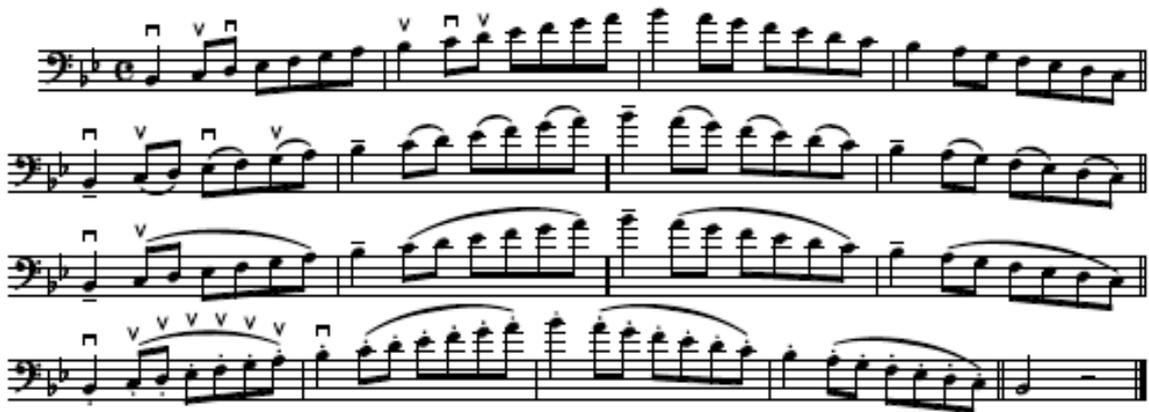
○チェロ

- (1) 課題曲
 - (a) J. Loeb: Gammes et Arpèges より Es-dur
 - イ) 4オクターブの音階
 - ロ) 4オクターブの分散3度
 - ハ) 4オクターブのアルペッジョ
 - ニ) 2オクターブの3度重音
 - ホ) 2オクターブの6度重音スラーは、イ)、ロ) は4つずつ、ハ) は3つずつ、ニ) とホ) は2つずつとします。
 - (b) J. L. Duport: Studies for Cello より任意の1曲
- (2) 自由曲
古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章を演奏してください。
カデンツァを含みます。

○コントラバス

- (1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。
 - (a) 音階 B-dur 2オクターブ 譜例参照

譜例



The image shows a musical score for double bass, consisting of four staves. The music is written in bass clef and includes various techniques such as slurs, accents, and dynamic markings. The first staff shows a sequence of notes with slurs and accents. The second staff continues with similar patterns, including slurs and accents. The third staff features a long slur over a series of notes. The fourth staff concludes with a final note and a double bar line.

- (b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 7
- (2) 自由曲
任意の自由曲を演奏してください。

○ハープ

- (1) 課題曲
 - (a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes pour la Harpe
Cinquante Etudes Op. 34 2^{ème} Livre より No. 34 と No. 44
 - (b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 6 Prélude と Sonatina 全曲
- (2) 自由曲はありません。

Ⅲ. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。

○フルート

- (1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。
選択した曲の番号は、受験票及び受験者写真票の[区分]欄に、楽器種別とともに記入してください。（記入例：フルート No. 4）
 - A. B. Fürstenau: 24 Studies (Bouquet des Tone) Op.125 より No. 4, No. 10
 - (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第1、第2楽章
第1、第2楽章ともにカデンツァなし
演奏箇所は、当日指定します。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes より No. 1～18
L. Wiedemann: 45 Etudes より No. 12, 13, 16, 28
 - (2) G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass より No. 2, 3, 6
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○クラリネット

- (1) Cavallini: 30 Capricci par Clarinetto (Ricordi 版) より
No. 19, 22 から当日指定します。
 - (2) E. Bozza: Fantasia Italienne pour Clarinette et Piano (Luduc 版)
- (1)、(2)いずれも暗譜の必要はありません。

○バスーン（ファゴット）

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 より
No. 20, 21, 23, 29 の中から2曲を当日指定します。
 - (2) G. Ph. Telemann: Sonata in F minor 第1、第2楽章
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○ユーフォニアム

- (1) J. Demersseman: Grande fantaisie sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)
繰り返しなしで演奏してください。暗譜の必要はありません。
- (2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○チューバ

- (1) A. Vivaldi: Sonata No. 3 in A minor (編曲、監修 R. Winston Morris) (Shawnee Press 版)
暗譜の必要はありません。
- (2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○打楽器 (スネアドラム)

スネアドラムは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

- (1) ルーディメンツ Collection Drum Solos (Ludwig Masters 版)
2 ページと 48 ページ (No. 1 から No. 26) の中から当日指定します。
いずれも「非常に遅く→非常に速く→非常に遅く」のスタイルで演奏してください。
- (2) All-American drummer (Ludwig Masters 版) より
Wilcoxon's 132nd, 133rd, 134th, 135th, 136th, 137th, 138th の中から当日指定します。
- (3) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版)
【25 番】 および 【27 番、29 番、30 番、39 番の中から当日指定】

マリンバ

- (1) J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E major BWV 1006 より Preludio (版の指定なし)
実音で2本マレットで演奏してください。

○打楽器 (マリンバ)

スネアドラムは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

- (1) ルーディメンツ Collection Drum Solos (Ludwig Masters 版)
2 ページと 48 ページ (No. 1 から No. 26) の中から当日指定します。
いずれも「非常に遅く→非常に速く→非常に遅く」のスタイルで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版) より 28 番
- (3) All-American drummer (Ludwig Masters 版) より Wilcoxon's 133rd (繰り返しなし)

マリンバ

- (1) J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E major BWV 1006 より Preludio (版の指定なし)
実音で2本マレットで演奏してください。
- (2) Alfred Fissinger: Suite for Marimba より “Bastogne Convoy” (版の指定なし)

2. 別紙1の譜例を見て、教えてください。

(譜例及び問題文の一部省略) ※

a と b の違いに着目し、ツェルニーがなぜこのように述べたのか説明してください。

出典：岡田暁生『ピアニストになりたい！ 19世紀 もうひとつの音楽史』春秋社、2008年、47頁。

3. 別紙2の文章※を読んで、教えてください。

本文中の「世界の音楽の諸伝統が侵入に対してどう反応してきたのか」という点について、具体例を挙げて論じてください。

出典：ブルーノ・ネットル『世界音楽の時代』細川周平 訳、勁草書房、1989年、9頁。

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な、語学の能力および理解力を備えているかを問う。

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

Ⅲ. 楽典 (作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース)

【試験問題】

別紙の譜例 (Schubert, Impromptu No.4 Op. 90、冒頭の32小節) を見て、以下の設問に答えなさい。

- (1)～(10)に示されている音程を答えなさい (例：長3度、等。なお音程はすべて単音程にして答えなさい)。
- (1)～(10)の音程のうち、転回音程の関係にあたるものをすべて答えなさい ((□)と(△)というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程にして答えなさい)。
- (1)～(10)の音程のうち、異名同音程 (例えば、減8度と長7度のような音程) の関係にあたるものをすべて答えなさい ((□)と(△)というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程にして答えなさい)。
- A～Hに示されている各和音の種類 (例：長三和音、等) とその転回形 (基本形、第1転回形、等) を答えなさい。
- 口、ハ、ニの部分の調性を日本語で答えなさい。
- イの部分を変名同音調に変換し、与えられた譜表に調号を用いずに書きなさい (アーティキュレーション及びダイナミクスは記入しなくてよい)。
- Impromptu の日本語名を漢字で書きなさい。

【譜例】2枚中の1

Allegretto
pp

A

B

イ

C D

ロ

【譜例】 2枚中の2

16

E F

(6)

20

(7)

(8)

ハ

23

(7)

(8)

(9)

f

28

(10)

(10)

p

pp

G H

二

【解答】

1. (1) 短2度 (2) 短3度 (3) 減7度 (4) 増4度
 (5) 減3度 (6) 増6度 (7) 減5度 (8) 重減3度
 (9) 重増4度 (10) 長6度

2. (2) と (10)、(4) と (7)、(5) と (6)

3. (1) と (8)、(3) と (10)、(4) と (7)

4.	和音の種類		転回形
A	<u>短三和音</u>		<u>基本形</u>
B	<u>属七の和音</u>		<u>基本形</u>
C	<u>短三和音</u>		<u>第1転回形</u>
D	<u>増三和音</u>		<u>基本形</u>
E	<u>属九の和音</u>		<u>基本形</u>
F	<u>属七の和音</u>		<u>基本形</u>
G	<u>短三和音</u>		<u>第1転回形</u>
H	<u>短三和音</u>		<u>第2転回形</u>

5. □ 変ハ長調

ハ □短調

ニ 変イ長調

6.



7. 即興曲

V. 聴音

・旋律（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。）

4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

・四声（器楽専攻弦楽器コース）

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

VI. 新曲視唱 (作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース)

(予見時間は1分30秒。主和音及び開始音を与える。)

Andante

mp *mf*

f *sub. p* *mf* *rit.*

a tempo

mp *mf* *p*